

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成24年度		
申請大学名	金沢大学	申請大学長名	中村 信一
申請類型	複合領域型（多文化共生社会）	プログラム責任者名	中村 慎一
整理番号	L01	プログラムコーディネーター名	鏡味 治也
プログラム名	文化資源マネージャー養成プログラム		

## ＜プログラム進捗状況概要＞

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムが取り組むのは、「多文化共生」をさらに一歩進めた「多文化共用」という将来的課題である。文化の違いも人類全体で共有する資源として、その価値と有用性を評価する姿勢を涵養することがグローバル社会での喫緊の課題であり、「多文化共生」の理念を浸透させるために、実社会へのコミットメントを継続できるリーダーの要請とネットワーク形成も社会的課題である。金沢大学は「東アジアの知の拠点」として、また「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として、今後世界の中心となるアジアを主眼に置いた人材育成及び教育研究機能の強化に努め、平成24年4月には「グローバル人材育成推進機構」、「先端科学・イノベーション推進機構」、「国際機構」を設置した。本プログラムは本学のグローバル人材育成のための中心的プログラムのひとつであり、国際的教育研究拠点形成の中核事業のひとつでもある。

### 2. プログラムの進捗状況

平成24年10月の採択通知以後、平成25年4月のプログラム1期生入学に向けて、初年度の平成24年度はプログラム運営委員会やプログラム実施委員会の設置、5名のプログラム特任教員および1名の事務補佐員の選考と採用、海外協定校4校からのプログラム留学生の選抜、日本人プログラム学生の選抜を実施した。それと平行して、印刷物やインターネットを使ったプログラムの広報、サブテキストの編集・印刷、海外協定校との連絡・調整のための4カ国への渡航、プログラム中の現地研修・調査のための機材調達等を行った。年度末までに5名の特任教員と1名の事務補佐員が着任して業務を開始しており、また1期生7名の選抜も終わり、次年度の授業開始を待つばかりとなった。